

2021年6月20日

候補者 様

神奈川ネットワーク運動・横須賀
代表 瀧川君枝

横須賀市長選挙にあたって候補者へのご提案

来る6月27日の横須賀市長選挙は、私たちが目指すまちづくりにおいて大切な機会です。5月にはフォーラムも開催し意見交換を経て、自主投票とさせていただきました。

いよいよ告示となり、候補者の皆様におかれましてはお忙しい日々と存じますが、私たちの基本姿勢をお示しし3項目を提案させていただきます。市政に反映いただけますようお願い申し上げます。

私たちの基本姿勢

神奈川ネットワーク運動は、未来に責任を持つために、「市民社会を強くする」ため、ローカルパーティーとして、政治に参加する市民を広げて、自治力を高め助け合いの広がる地域コミュニティを形成して、生活の質を豊かにすることを目指しています。視野を世界に置いた市民の地道な活動が広がる民主主義の息づく社会を育むことを目指しています。

神奈川ネットワーク運動・横須賀は、1990年に設立し、議会活動とともに福祉・子育て・平和にかかわる市民事業を生み出し、参加型のまちづくりをすすめています。

横須賀市は、地形による制約や歴史を踏まえた産業の変化もあり、ベッドタウンの側面も持ち、多様な人々が暮らしており、課題も多岐にわたっています。

そのため、次の4つを実現するための活動を行い、市民が力を合わせてお年寄りから子どもまでもが生活圏で豊かに暮らし、まち全体が潤うことを目指します。

- 1) 横須賀に住み暮らす人が、様々な理由・立場を超えて気持ちよく暮らせるよう、大勢の市民の声を反映できるまちづくり
- 2) 豊かな自然を生かしたまちづくりをすすめ、自然の海岸と緑を守る
- 3) 真の「平和産業港湾都市」を目指し、人間の安全保障にのっとり、「基地のまち横須賀」から、「風薫るまち横須賀」に転換
- 4) 市民参加を前提として、マスコミや行政の情報に頼ることなく自分たちで確かめ、情報は公開

提案項目

1、市民から選ばれた多様性のある市議一人ひとりに丁寧に向き合う

2元代表制の一翼を担う議会の議員は多様な市民を代表しています。首長にはその一人ひとりとの合意点を見出す努力を求めます。

2、市民と向き合う市役所の職員のやる気があがるよう、行政の仕組みを作る

縦割りや相談のたらいまわしという行政課題の改善の努力とともに、首長の思いを共有し、上司や職員同士からの圧力を受けず、日々市民と向き合う職員から出されたアイデアややる気が生かされるのが、暮らしやすいまちづくりにつながります。

3、市民が事業を担う本来の市民協働を推進する

市民は単にサービスの受給者ではありません。行政が市民を信頼して、ともに課題解決や、事業や地域づくりをすることで、暮らしやすいまちになります。